

発達障害

脳の機能が関係する生まれつきの障害です。

発達障害がある人は、コミュニケーションや対人関係をつくることに苦手です。自閉症などの広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害や学習障害などがあります。

知的な遅れがある場合とない場合があります、言葉が話せる人でも他者とのコミュニケーションや自分の状況等を説明することが難しい人がいます。また、大きな声や雑踏、騒音、光の刺激等に敏感で、苦痛に感じる場合があります。

このような状態を周りの人に理解してもらえず、親のしつけや本人の努力不足が原因と誤解されることがあります。

※ 発達障害に関する相談

北部・南部発達相談支援センター（アール）など……P.32～参照

必要な配慮等

- コミュニケーションが苦手な人には、言葉より絵、文字、写真、実物などを使う。



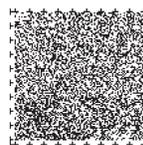
- 見通しが持てないと、不安になるので、スケジュールなどで1日の流れを伝える。
急な変更は理由を伝え、本人に理解を得る。

- 職場などで集中できず、落ち着かない場合、パーテーションなどを活用するなどして、落ち着く場所を確保する。

- 否定的な言動に過敏な人が多いので、できるだけ肯定的な言い方で話す。



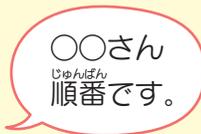
- 聴覚が過敏な人には、ヘッドホンの使用を認めたり、静かな場所を準備する。また、視覚が過敏な方にはサングラスの使用を認めるなど、本人の特徴に応じた配慮をする。



事例など

寄せられた好事例

- ◆ 病院の受診時、待ち時間の見通しが持てないと不安で、パニックになってしまうので、あらかじめ予約でき、おおよその受診時間の目安がわかる病院は、本人も家族も助かっている。
- ◆ たくさんの方がいる待合室が苦手なため、別の部屋や自家用車の中で待たせてもらい、順番がきたら声をかけてくれる配慮をしてくれる病院は大変助かっています。



こんなことで困っています

- ◆ 職場などで、会話ができるために、普通に何でもできると誤解され、障害があることを理解してもらえず、配慮してもらえない。
- ◆ 会社で、本人への指示が「工夫して」などあいまいな表現だと、仕事の進め方が分からずに、上司に何度も確認してしまい、怒られてしまう。

必要な配慮



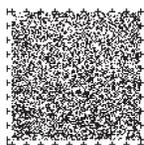
抽象的な指示やあいまいな指示の理解が苦手なため、具体的な見本や工程表に写真を付けるなど、視覚的な手がかりを提供するなどの配慮が必要です。

仕上げの手順
〇〇〇〇〇〇〇〇
仕上げの見本

仕上げはきれいに



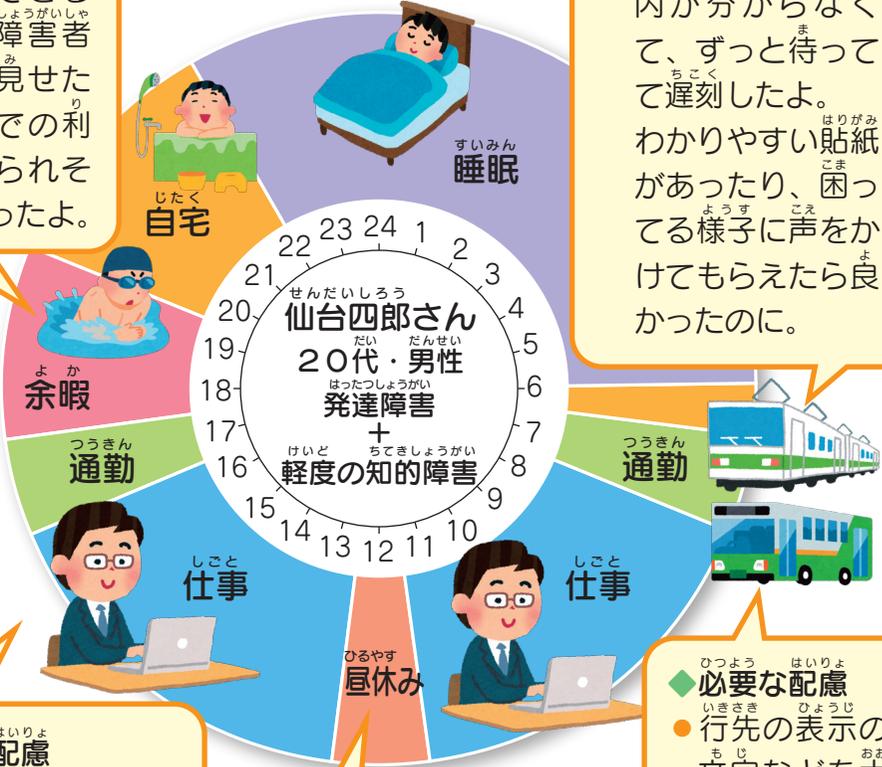
- ◆ 親のしつけが悪いと言われ、親はつらい思いをしてしまう。



せいかつ なか ひつよう はいりよ
生活の中で必要な配慮など

◆ **困ったこと**
 ● 付添いがなくてもプールの利用ができるのに、障害者手帳を見せたら一人での利用を断られそうになったよ。

◆ **必要な配慮**
 ● 事故で連休した案内が分からなくて、ずっと待って遅刻したよ。わかりやすい貼紙があったり、困ってる様子に声をかけてもらえたら良かったのに。



◆ **必要な配慮**
 ● 作業手順について、図や写真を使ったマニュアルや具体的な指示がほしいな。「工夫して」では分からないよ。

◆ **必要な配慮**
 ● 人とのコミュニケーションが苦手なので一人になれる空間がほしいなあ。

◆ **必要な配慮**
 ● 行先の表示の文字などを大きくして、ふりがなをつけてもらえると迷わずに乗れるよ。

◆ **必要な配慮**
 ● 感覚過敏があるから、耳栓や衝立を使いたい。それで仕事に集中できるんだけど。

◆ **必要な配慮**
 ● 今日1日の仕事のスケジュールを分かりやすく表示してほしいな。見通しが持てないと不安…。

